

## 京都府立医科大学附属病院関連施設における急性冠症候群の実態調査

当院及び京都府立医科大学附属病院ならびにその他関連病院では、急性心筋梗塞や不安定狭心症などの実態調査を実施しています。

実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

### 1. 研究の対象

2020年1月1日以降、京都府立医科大学及び関連病院に急性心筋梗塞及び搬送時心肺停止にて来院又は搬送された方

### 2. 研究目的・方法

京都府における急性心筋梗塞の発生率は人口10万人あたり50人程度とされています。急性心筋梗塞の院内死亡率はカテーテル治療の発展に伴い、20年前と比し低下傾向にあります。高齡化を背景にここ数年は改善に乏しく、院内死亡率は7~10%と依然高く推移しています。また、急性心筋梗塞は心肺停止の要因になりうる疾患であり、心肺停止を呈した場合の予後は不良です。

急性心筋梗塞や心肺停止症例の実態を正確に把握できる資料は存在していませんでしたが、2000年より京都府立医科大学循環器内科と京都府立医科大学附属病院関連施設による京都心筋梗塞研究会が組織され、疫学調査と治療成績を検討し、多くの報告を行ってまいりました。しかしながら、今後高齡化を背景に急性心筋梗塞患者が増えることが予想されており、我々はさらに急性心筋梗塞の予後を改善する取り組みを行う必要があります。また、20年前と比し患者さんの高齡化や食生活の変化、また、急性心筋梗塞に対する治療方法の変化もあり、現行の治療に即した新たな内容で研究を行う必要があります。

急性心筋梗塞を含む急性冠症候群の新たな観察研究を行うことは、現状の治療や救急医療体制の課題を明らかにし、急性心筋梗塞や心肺停止で来院または搬送された患者さんの院内死亡率の低下や、長期予後の改善に寄与できると考えております。

そこで、本研究において京都府立医科大学附属病院と関連病院における多くの病院での症例を可能な限り登録し、以下の方法で研究を行うことにいたしました。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢・生年月日・性別、既往歴、病歴、心肺停止状況(心肺停止の症例のみ)、検査値、血管造影所見、治療内容、死亡原因、死亡以外のイベント(心筋梗塞の再発、脳卒中、出血性合併症、致死性不整脈など)の発生状況等

### 4. 外部への試料・情報の提供

京都府立医科大学 循環器・腎臓内科学教室

### 5. 研究組織

研究責任者：京都府立医科大学医学部附属病院 循環器内科 教授 的場 聖明

#### 研究担当者

京都府立医科大学医学部附属病院 循環器内科 准教授 中村 猛

京都府立医科大学医学部附属病院 循環器内科 助教 矢西 賢次

京都府立医科大学医学部附属病院 循環器内科 大学院生 庄司 圭佑

京都府立医科大学医学部附属病院 循環器内科 大学院生 藤岡 歩

京都府立医科大学医学部附属病院 循環器内科 大学院生 川俣 博史

京都府立医科大学医学部附属病院 循環器内科 リサーチマネージャー 湯川 有人

京都府立医科大学附属北部医療センター 循環器内科 助教 河崎 貴宣

個人情報管理者：京都府立医科大学医学部附属病院 循環器内科 助教 若菜 紀之

統計解析責任者：京都府立医科大学医学部附属病院 循環器内科 助教 矢西 賢次

#### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：

京都中部総合医療センター 循環器内科 副院長 計良夏哉（当院窓口）

研究代表者：

京都府立医科大学 循環器・腎臓内科学教室 教授 的場 聖明

-----以上